

FVI「声なき者の友」の輪  
Friends with the Voiceless International



2026年 春号

URL : <http://www.karashi.net/>

### 日本再生のカギ

#### “仕方がない”を乗り越える選択と決断

理不尽な困難や悲劇に見舞われたり、避けられない事態に直面したりした際に、肅々とその状況を受け入れながら、私たちの多くが発する言葉が「仕方がない」というものです。日本の文学研究家（熊本大学名誉教授）の首藤基澄はその著書『「仕方がない」日本人』の中で、遠藤周作の『海と毒薬』に記されている「仕方がない」という言葉を、日本人の精神構造を象徴するものとして論じ、「仕方がない」は、「日本人の精神性を最も収斂した言葉」と述べています。世界にある約1500の活火山の7%にあたる111を抱えるこの国で、長い間、噴火・地震・津波など不可抗力の事態に直面し続けてきたことが影響しているのでしょうか。

「仕方がない」という言葉を発し、周りの人と歩調を合わせ、自分で選択・決定できる場面においても、自分に圧力をかけてくる周囲の状況に同調し「思考停止」状態に陥り「人間らしさ」を失い、自分の責任を回避し、あきらめる生き方は常に弱者を痛めつけてきました。

長い日本の歴史を支え、再生させ続けてきたスピリットは、起こってしまった「仕方がない」事態を振り返って「くよくよ」するのではなく、「どこかに“仕方”がある筈だ」と信じて主体的に道を模索し、周りの多数者が何と言おうとも信じたことに邁進する選択と決断をしてきた少数者が堅持してきたものではなかったでしょうか。この国を再生させるカギは、まさにこのような少数者の活躍です。私たちはどのような選択と決断をしているのでしょうか。

「ですから、私たちはそれぞれ自分について、神に申し開きをすることになります。」

(新約聖書 ローマ人への手紙 14:12)

「声なき者の友」の輪 神田英輔

\*FVIの働きは皆様からのご支援に支えられているカタリストによって担われています。 献金で各カタリストをご支援くださる際には、振り込み用紙に「神田指定」などとカタリスト名をご明記くださ

